

「アルツハイマー病初期における青斑核神経軸索の変性退縮に関与する分子メカニズムの解明」に関する情報公開

当センターでは、東京都健康長寿医療センター高齢者ブレインバンクに登録された方を対象に下記の共同研究を実施します。

本研究への協力を望まれない場合、あるいは研究の詳細についてお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ担当者までご連絡ください。

●研究の名称

アルツハイマー病初期における青斑核神経軸索の変性退縮に関与する分子メカニズムの解明

●研究責任者

東京都健康長寿医療センター 神経病理／高齢者ブレインバンク 齊藤祐子

●研究の対象

2001 年 7 月～2022 年 4 月に東京都健康長寿医療センター高齢者ブレインバンクに登録された方の内、病理診断によりアルツハイマー病診断された方および顕著な神経疾患なしと診断された方。

●研究の期間

倫理委員会承認後から 2025 年 3 月まで

●研究の目的と概要

青斑核は、アルツハイマー病（AD）患者で最も早く神経細胞の脱落が生じることが知られています。申請者等は、これまでの研究で AD マウスモデルを用いて、大脳皮質等のアミロイド病理と青斑核神経軸索の障害との関係を見出しました。本研究では、ヒト脳組織を用いて両者の関係が見られるかどうかを検証し、その分子機序を明らかにいたします。

●研究の方法

脳組織のパラフィン切片を用いて、青斑核神経軸索の変性・退縮の程度、アミロイド病理、マウスで見つけた候補遺伝子産物の発現様式について、免疫組織学的に検討いたします。

●研究に使用する試料・情報

脳病理のほぼ無い認知機能健常者、 $A\beta$ 病理を呈する認知機能健常者、AD 患者 各 3 名の脳パラフィン包埋切片

それに付随する臨床情報、病情報

●研究組織

東京都健康長寿医療センター 神経病理／高齢者ブレインバンク 齊藤 祐子

村山 繁雄

国立長寿医療研究センター 神経遺伝学研究部

飯島 浩一

●お問い合わせへの対応

本研究に関するご質問や資料閲覧のご希望は、下記の問い合わせ先にご連絡下さい。

研究計画書や研究方法に関する資料については、ご遺族の希望に応じて、他の研究対象者や研究者に不利益が及ばない範囲内で、ご覧になることができます。また、研究への協力撤回を表明された場合は、速やかに研究での利用を停止いたします。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることはございません。しかしながら、すでに研究に使用されていた場合には、結果の削除など十分なご対応ができない場合がありますことをご了承ください。

●問い合わせ先

〒173-0015 東京都板橋区栄町 35 番 2 号

東京都健康長寿医療センター

高齢者ブレインバンク/神経病理 齊藤祐子（研究責任者）

電話 03-3964-3241 内線 4419（平日 9:00~17:00）